



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 セキショウウェルビーイング福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

功労者交流会を開催！！

茨城同友会は、今期、第37期を迎えました。今期は「実践」をテーマに、同友会の活動の源である例会づくりを軸に原点回帰で、活動を行っています。原点回帰の活動を行う上で、茨城同友会の設立の精神や想いの共有・交流の機会として、9月22日に功労者交流会を開催しました。創立メンバーと現役員が初めて交流し、同友会の現在過去未来について語り合う大変貴重な場となりました。



初代表理事を務めた森秀男さんから、代表理事時代に機関紙に寄稿した『例会こそ第一(ベスト)』という記事のご紹介と共に、熱く語っていただきました。

「我々の自らの実践は、まず例会への参加があります。身近な仲間の生きた体験をじっくり勉強できます。しかも、同友会独自のグループ討論があります。同じ事を聞いても気付かなかった面を沢山教えてくれます。この討論や質疑を通して更に問題の核心に迫ることが出来、明日からの元気の基が発見されます。自ら参加して作る例会への出席は会員として第一に実践すべきことであります。(中略)私達は縁あって同友会に入会したからには先ず足元の例会に出て、自主的に基本をじっくり学び、どんな人からも学べる自分を育てたいものだと思います。」

同友会設立メンバーの皆さんとの交流を通して、同友会活動そのものが自身の資質と自社発展を磨く場として機能しなければならないという思いを新たにしました。今後も定期開催を予定しています。

◇第23期経営指針を創る会 第3・4講合宿 in阿字ヶ浦クラブ 2022.8.27～28◇



自分自身と向き合い、経営理念のキーワード探し。
自社は何業なのか？何のために経営しているのか？何処を目指しているのか？どうなりたいのか？・・・悩んで新たな発見があり、つまづいてはまた悩み・・・の繰り返し。
自分自身の中にある答えにたどり着けるまで、委員・OBも共に考えます。
合宿での2日間、指針を創る会に参加した全員が、くたくたになりながらも諦めず、とことん深掘りし自己を見つめ続けました。
その想いと共に、理念とビジョンを10月1日の前期発表会で言葉にします。



水戸ヤクルト販売(株) 内藤 学さん



今年からフィットネス事業にも参入し、「健康で美しく」の企業ビジョンのもと、ヤクルトと運動を組み合わせたアフローチの相乗効果で需要取り込みを目指しています。同友会で学んだ「ビジョン経営」の浸透に向けて今後も内藤社長の実践は続きます。

(株)MVサービス 松橋 裕子さん



息子さんに障害があることが分かり一念発起で起業した松橋さん。社会の中で色んな人が受け入れられる土壌を作るために邁進しています。「無いものを自分で作っていく、息子のために色んなことが出来る会社でありたい」と話してくれました。

(有)ふじ美装 木田 雄志さん



ふじ美装は、日本一の山、富士山がその名の由来です。伸びしろがありまくる研磨技術。時代のニーズにあった仕事で価値を高め、常に時代の変化にあわせて、新しいビジネスモデルを創造する。日本だけでなく世界に発信していくため、木田さんの挑戦は続きます！

(有)亀山建築 亀山 勝さん



自然素材の住みやすい家づくりがコンセプトの亀山建築。モデルハウスも随所に「家づくりに心地よさをプラスする」という亀山さんのこだわりを感じました。情報が溢れる時代の中、選ばれる会社であり続けるために「自社を売りはしない」と話してくれました。

(株)松井建設 松井 祐一郎さん



今年5月に3代目社長に就任した松井さん。「全社員の物心両面の幸せを追求するとともに、誠意と創意をもって地域社会に貢献する。」という経営理念のもと、他社にはない自社の強みを生かし、社員と共に成長出来る会社を目指していきます。

IKK(株) 石川 稔さん



ヤフオクで物が売れることを知って、リサイクル事業をスタートした石川さん。常に新しいことに挑戦し続けているからこそ、時代のニーズを捉え、事業を拡大して来ました。「失敗してもいいからやってみる」そんなIKKが描く次のビジョンにご期待ください！

笑顔とパワーを配達します。あなたの1時間、サルトにください!!(*ω*)

【編集後記】編集後記での決意表明から4ヶ月。ヴィクトリースーツに入れました!!(5月号参照)出来ないうい訳を、環境や時間・人のせいにするのは簡単。特に困ってないなら現状維持。私の得意分野でした。だって楽なもの。その代わりに新しい出会いも発見も成長もない。あれ？もしかして自分で自分の世界を小さくして可能性を潰してた？そう気づかせてくれたのは今期のスローガン「シュートを打て！」この言葉でした。そしてヴィクトリースーツを手に入れるという目標を掲げた5月。マインドを「やる」に変えて行動するうちに、私の日常も劇的に変化してきました。まずは口癖だった「出来ない」を言わないと心に決め、行きたいところには行く、会いたい人には会う、手に入れたいものには手を伸ばす。(この歳になったからこその貪欲さもあるけど)時間を捻出し、アンテナを張り巡らせ、そうしているとおびっこりするような人に出会えたり、思いがけない場所に連れて行って貰えたり、見える世界がガラリと変わりました。ヴィクトリースーツ買ってても着る機会ある？最初はまだそんなことを思っていました。スーツを受け取った2日後にはヴィクトリースーツを着てパーティーに参加している私がいきました(笑)「いくら「決断」しても「行動すること」なしにはその未来は近づいてこない、1ミリも。」ある本の言葉です。悩んでもいい、失敗してもいい、それでも前向きに行動し続けよう。今ヴィクトリースーツを眺めながらそんなことを考えています。次の目標に向けて新たな行動を開始します。(Shimo)



8月例会報告

例会こそが同友会活動！月に一度は参加しよう！

日立支部

8月3日(水)日立シビックセンター・Zoom併用
 報告者:鎌倉 正行さん (株)鎌倉電通 代表取締役
 『プロダクトサイクルからの~ビジネスモデルを考える!!』



日立支部8月例会は、満を持して経営指針を創る会委員長の鎌倉さんが登場。二次受けによる売上げが大きくウェイトを占めるビジネスモデル。通信インフラ整備であるが故の、減退の兆しがある既存プロダクトサイクルの再構築。構造的な問題と捉えた鎌倉さん。二次受け以外の売上げの柱、別の受注先開拓、通信やそれに即した技術を活かせる業務の洗い出しなどによって活路を見出すべく奮闘していました。また人員補充も今後を見据えてコンサルを導入するなど努力を惜しみません。「安心」を軸にした思考やそれに基づく言行には従業員や顧客、提携・協力会社など強い責任感の所為と感じます。新たな一歩を踏み出すべく、様々な人と会い人脈を形成。その中で自社の資源で対応出来ることと照らしながら進む姿は、我々経営する者にとって大切な姿勢だと再認識しました。

(レポート:掛札 武志さん)

水戸支部

8月24日(水)絆ノウェル`-イグ`福祉会館
 報告者:豊田 一雄さん (株)根子左 代表取締役
 『繋ぎ進み続ける~事業をつづかせさせていく"本当の意味"とは』



事業承継をする上で株、税金、後継者など皆さんそれぞれ問題になっている事、不安に思う事いろいろあると思います。そのような問題の前にはまず、向き合わなければならない事どのような事なのか？という事を今回の例会を通して学びたいと思います。事業承継をする上で準備や覚悟の大切さ、継承する人へのリスバフ、感謝の心が事業承継をスムーズに行う鍵になると思います。そして事業承継を考えていない人でも会社や経営者の魅力伝える事で、自分が行って来た事業を繋ぎ進める事が出来るのではないのでしょうか？今回の例会を期に現在、業承継で悩んでられる方、これから事業承継をする方、される方、また、事業承継はしないという方にも、今回の例会を自社に持ち帰ってもらい事業承継と向き合ってもらえればと思います。

(レポート:高橋 啓介さん)

南西支部

8月23日(火)ホテルベストラフ
 報告者:宇田川 真由美さん (株)あおば 代表取締役
 『未だかつてないほど、人がこない！人と出たい！若者・次世代が欲しい！人が来続ける仕組みづくり、何かしてますか？』



8月23日開催の南西支部例会につきまして報告いたします。今回の例会は、(株)あおば代表取締役の宇田川さんに報告を頂き、長年にわたり介護業界に携わってきた宇田川さんにとって現在の最大課題である人材不足につきまして過去から現在の状況をご報告頂き、どの業界でも悩みであろう人材確保につきまして、グループ討論を行いました。グループ討論の中では、ガン患者向け人材募集やLGBT専門募集など新たな取組みや採用動画を作成し、自社アピール方法の構築など時代に合った告知の仕方が討論されました。またセカンドキャリアにも役立つ会社アピールといった違う角度からの見せ方など興味深いグループ討論となりました。まとめとしては、これからの時代に合った告知をし、興味を持ってもらい、良い職場環境を整え、求職者のメリットを明確にすることが重要であると考えました。皆様のご意見が宇田川さんのこれからの活動のご参考になった例会であったと思います。

(レポート:坂本 和史さん)

県西支部

8月31日(水)坂東市商工会館
 報告者:小宮 敦士さん (株)小宮造園 代表取締役
 『その事業に未来はあるのか!』



8月31日 県西支部8月例会は株式会社小宮造園 代表取締役小宮敦士さんに『事業展望』をテーマに報告して頂きました。先代から続く造園業を引き継ぎ、社員が安心して働き続ける事が出来る会社にして走り続けた小宮社長。走りつづける中で、次々とやりたい事ややるべき事が見え出してきました。そこで改めて表面化された『自分や自社が達成したい理想の会社像と、企業を維持していくために必要な現在の仕事とのギャップ』。

この大きなギャップを一つ一つ埋めるために社長として今やるべき事は何か？企業規模や業種関係なく全ての経営者が直面するこの状況に対して、参加者からのフィードバックやグループ討論も大変盛り上がり、自社の実例を踏まえた意見交換が活発に行われた例会となりました。一つ残念なのはコロナ禍という事もあり懇親会を控えた事です。このテーマで朝まで語り合う日が早く来ることを切に願います(笑)

(レポート:八巻 大介さん)

第10回いばらき中小企業経営フォーラム

テーマ
 【一隅を照らす】

2022年11月25日(金)13:00START

今ぶつかっている壁を突破するために何が必要なのか、どう行動すればいいのか？自社の一隅を照らすとは何かに気づいていただき明日から「よっしゃ！やるぞ!!!」という気持ちになるようなフォーラムにしたいと思います。フォーラム実行委員長 松野聖史



参加登録はこちら

<p>日立支部 10/5(水)18:00~ 久慈センター日立 内山 庄栄さん 報告テーマ 「新規事業の組み方」</p>	<p>日立支部 11/7(水)18:00~ シビックセンター 丹野和良さん 報告テーマ 「事業計画」</p>	<p>水戸支部 10/26(水)18:00~ 福祉会館 伊藤友之さん 報告テーマ 「取捨選択の判断」</p>	<p>南西支部 10/25(火)18:00~ つくば研究支援センター 大木範彦さん 報告テーマ 「経営指針」</p>	<p>県西支部 10/24(月)18:00~ 境町商工会館 Zoom併用 高橋秀季さん 報告テーマ 「経営実践」</p>	<p>ドラゴン支部 10/13(木)18:00~ 牛久市商工会館 矢内久子さん 報告テーマ 「社員共育」</p>
---	--	--	--	--	--

新事業の作りかた

報告者 内山 庄栄さん

10月5日(水) 18:00~21:00

久慈センター 2F 202号室

経営の断捨離術

報告者 丹野和良さん

11月2日(水) 18:00~21:00

日立シビックセンター 1F

断捨離術

報告者 伊藤 友之

10月26日(水) 18:00~21:00

福祉会館 2F 202号室

経営指針

報告者 大木 範彦

10月25日(火) 18:00~21:00

つくば研究支援センター

経営実践

報告者 高橋 秀季

10月24日(月) 18:00~21:00

境町商工会館 202号室

社員共育

報告者 矢内 久子

10月13日(木) 18:00~21:00

牛久市商工会館

永岡代表理事 活動報告 会員企業発展のため、代表理事方針に基づき積極的に基盤を作っています。

- 【金融機関との連携】
- ・常陽銀行本店や日本政策金融公庫と面談を重ねている
 - ・ビジネスマッチングも含めて関わり方を模索
 - ・今後は常陽銀行本店を中心となり県内の金融機関の取りまとめを行い、同友会活動に関わっていく(常陽銀行・茨城県信用組合・水戸信用金庫等)
 - ・10月5日の日立支部例会から、常陽銀行本店と茨城県信用組合の担当者が参加
 - ・10月以降の各支部例会にも金融機関担当者も参加予定(案内済み)

- 【大学との連携】
- ・常磐大学・茨城キリスト教大学・筑波学院大学の学長と面談
 - ・キャリア支援センターとも連携しながら協定締結に向けて協議中
 - ・県北・県央・県南の3大学と連携を取ることで、県内を網羅していく
 - ・合同企業説明会の開催や、地域連携などにも繋げていく(既に合説参加依頼有り)
 - ・地域になくはない企業を目指す同友会。一つひとつの活動が「自社発展」に繋がっている



「激変する情勢に対応する企業経営実践を学びあう！」

関東甲信越ブロック代表者会議が、3年ぶりに神奈川でリアル開催されました。茨城同友会からは、斉藤代表理事が参加。今回は例会を軸に全ての活動が「自社の発展のため」として、「経営指針の成文化と自社実践」につながる形になっていることを報告。その集大成として、2025年の経営労働問題全国交流会を開催することを宣言しました。各地の実践報告、グループ討論でも「同友会で学んだことは全て自社に置き換えて考える」「情勢の変化に対応するためには、どんな困難な状況でも自社と同友会で常に挑戦し続ける」という声飛び交いました。最後に、「『経営者の心構え』を磨き上げていくのが同友会である」とのまとめがありました。

